

風土記の丘の花だより¹⁰⁹

今、そしてこれから見られる植物(2021年11月6日)

やっとキンモクセイの花が香るようになりました。去年の記録を調べてみると、「9月24日開花」とありました。今年はずいぶん遅いです。暑い日が長く続いたからでしょうか？何はともあれ、咲いてくれて良かったですね。



センブリが咲いています。前山A23や99などに多いのですが、残念なことに今は工事のため見に行けません。でも、第3園路から金竜大神に下りていく道を下りきって、また上り始めて10メートルほどの左側に一株を見つけました。少ししんどいですが、よかったら見に行ってください。(まだ他にもあると思いますが、私はまだ見つけていません。)



キバナガンクビソウもその周辺にたくさん咲いています。ガンクビは「雁首」と書き、キセルの先に付いている金属部分のことです。それに似て花をうつむき加減に付けるのでこの名前が付けました。キク科の植物にありがちな筒状花で、花びらがなく華やかさに欠けますが、秋の風情も感じます。「キバナ」を付けずにただガンクビソウと呼ぶこともあります。



旧小早川家住宅の庭にシュウメイギクが咲いています。ただし名前にキクと付いていますが、花を見れば分かるようにキクの仲間ではありません。シュウメイギクはキンポウゲ科の植物です。花びらのように見えるのは萼(がく)で、真ん中の黄色い部分が花です。ど真ん中が雌しべでその周りを取り巻いているが雄しべです。



ヤブムラサキの実がきれいです。ムラサキシキブの実より少し大きめで固まって付きます。葉が毛深くて、触るとフワフワしているので、ムラサキシキブとは葉の手触りだけでも区別が付きまます。ちなみに、庭に植えられふつうムラサキシキブと呼ばれているのはコムラサキであることが多いです。小さな実が丸く固まって少し枝垂れることの多い庭木です。 松下